

GENESIS Inc.

ジェネシス株式会社 ホワイトペーパー

上流工程の戦略的パートナーとして、
ビジネスの成功を加速させる

目次

ジェネシス会社紹介

- Philosophy & Mission
- 事業内容の全体像
- DX & HR SERVICES

- Vision & Values
- DEVELOPMENT & PMO
- COMPANY PROFILE

事例紹介

- 事例紹介 01：全社向け分析用データ蓄積基盤構築
- 事例紹介 02：AMLシステム刷新
- 事例紹介 03：ISO 20022 移行

大規模PJ PMOあるある

ジェネシス 会社紹介

クライアントのビジネスとシステム開発の成功に貢献するために

PHILOSOPHY & MISSION

PHILOSOPHY

📍 企業理念

「適切に努力する人が輝ける場所を創っていく」

誠実に、柔軟に、そして仲間と共に、一人ひとりの適切な努力が報われる環境を構築していきます。社会に自身の付加価値を提供し、未来に寄与貢献することを目指しています。



MISSION

🎯 ミッション

「本質をとらえ、現況と人心に寄り添い、プロジェクトの成功に寄与する」

上流工程で求められる役割を認識し、全体最適を見据え、関係者と共に価値を構築していくことを使命としています。

- ✓ **本質の追求：**
表面的な事象に惑わされず根源的な価値を構築
- ✓ **全体最適：**
プロジェクトの成功を左右する上流工程の責任を全う
- ✓ **人心への寄り添い：**
現況を正しく理解し、関係者と共創する支援

VISION & VALUES

上流工程の戦略的パートナーとして、社会に信頼される集団へ。
ITシステムに留まらず、自社の新たな事業・サービス創出にも挑戦します。

VISION

ビジョン

「上流工程の戦略的パートナーとして、社会に信頼される集団へ、プロジェクトの成功に
寄与し、社会への新たな価値創造に貢献する」

プロジェクト全体が一つのチームとして機能することの要として上流工程に深く携わります。また、ITシステムに留まらず、自社の新たな事業・サービスの創出にも挑戦し続けます。

VALUES

バリュー

「5つの行動指針に基づき共に進む」



素直に事実を見る

思い込みを排し、事実をありのままに受け止めます。



与える文化を育む

相手への価値提供を重視し、信頼関係を築きます。



柔軟な思考で進化する

理想と現実の両面から最適な選択を行います。



現実に根ざして前に進む

状況に応じた現実的な対応を重んじます。



連携して価値を届ける

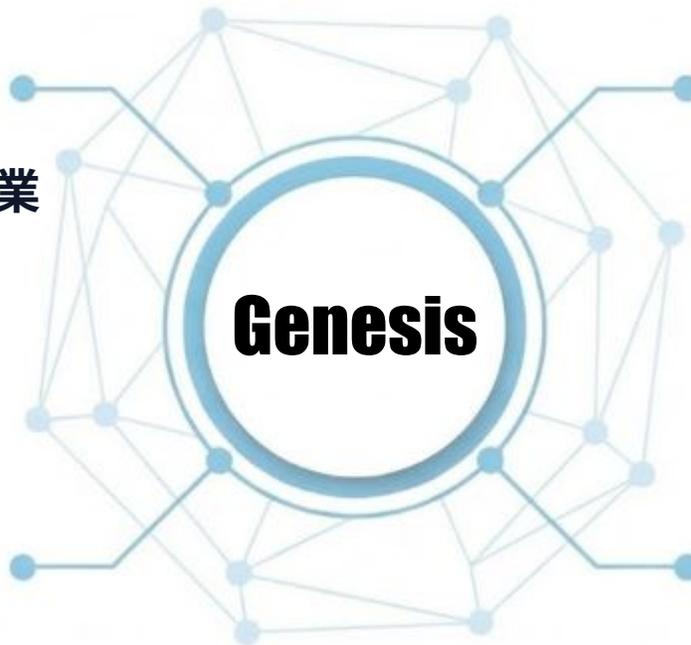
それぞれの役割を尊重し、連携を通じて最大の価値を生み出します。

事業内容の全体像

プロジェクトの企画推進面とシステム開発面の両面からクライアントを強力にサポートします。



プロジェクトマネジメント事業
(PM・PMO)



システム開発事業
(受託・SES・自社サービス)



社内DX推進サポート

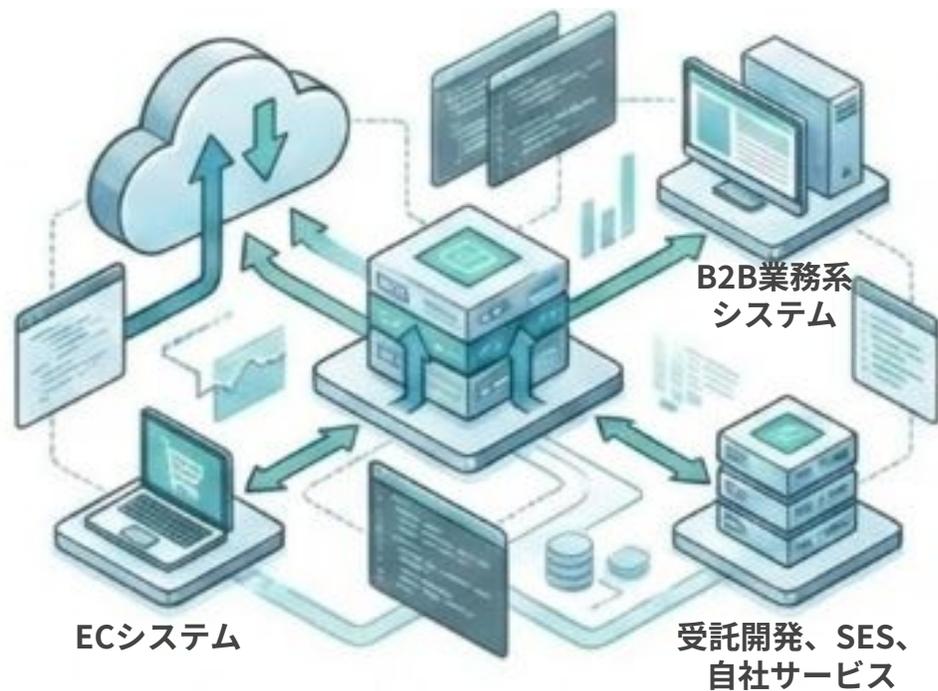


専門人材の紹介事業

DEVELOPMENT & PMO

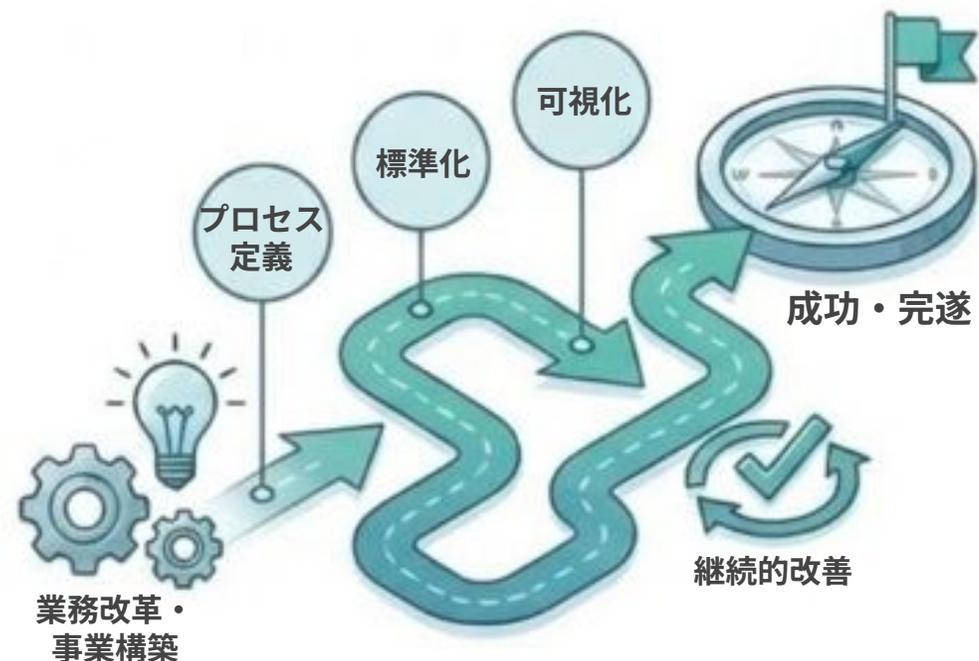
システム開発事業

ECシステム、B2B業務系システムを中心に展開。受託開発、SES、自社サービスの多角的な形態で、顧客ニーズに最適なソリューションを提供します。



プロジェクトマネジメント事業

業務改革や事業構築におけるプロセス定義、標準化、可視化を実施。当事者意識を持ち、関係各所と緻密な調整を行いながら完遂へと導きます。



DX & HR SERVICES

社内DX推進サポート

長年蓄積された技術力と豊富な現場経験を基に、顧客企業のデジタルトランスフォーメーションを戦略的に支援。組織全体の生産性向上に寄与します。



人材紹介事業

IT・WEB業界、特にエンジニア層に特化。未経験からのキャリアチェンジから、高度なスキルを持つベテラン層まで、ミスマッチのない最適なマッチングを実現します。



COMPANY PROFILE

ミッション



本質をとらえ、
現況と人心に寄り添う

社名



ジェネシス株式会社

事業内容



システム開発、PMO支援、
DX推進サポート、人材紹介事業

募集職種



PMO / ITコンサルタント
(上流工程・DX推進メンバー)

事例紹介

Genesis Performance

History

CASE STUDY 01

全社向け、分析用データ蓄積基盤開発プロジェクト

プロジェクト背景: 業務・人事データの蓄積基盤開発と、Tableauによる可視化環境の構築・運用。

参画期間	2022年7月～2023年8月
担当部署	情報システム部
役割	開発部門PMO、設計・データ可視化対応支援

はじめに: BIツールによるデータ分析とは？

Business Intelligence Overview

経営の意思決定を加速させる

BI(ビジネスインテリジェンス)ツールとは、企業内に蓄積された膨大なデータを収集・分析・加工し、経営や業務に役立つ形で可視化するソフトウェアです。

データの可視化

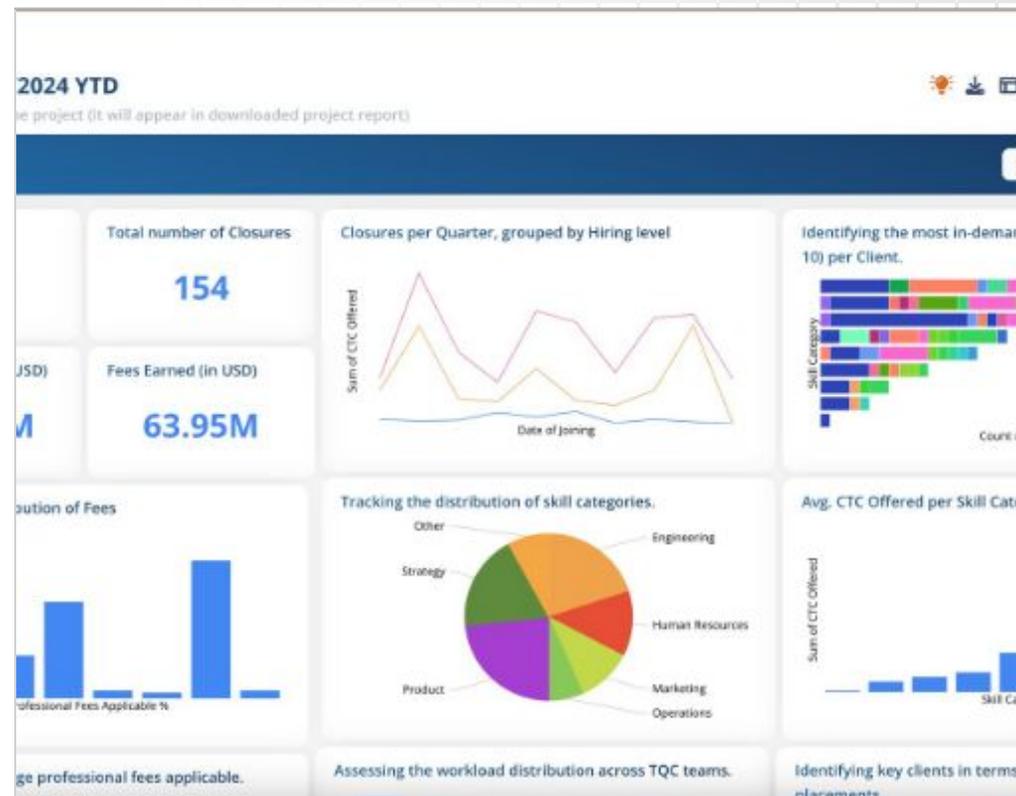
複雑な数値データを直感的なダッシュボードへ変換

迅速な意思決定

リアルタイムな現状把握により、判断スピードを向上

データマイニング

データ間の相関関係を発見し、新たな知見を創出



プロジェクトの目的(なぜこのプロジェクトが実施されたのか?)

Project Purpose

データドリブン経営の実現に向けた 3つの視点



経営・戦略的視点

データドリブン経営の実現

- **事実に基づく意思決定へ**
経験や勘から、客観的なデータに基づくエビデンス・ベースド・マネジメントへシフト。
- **経営判断の迅速化**
月次ではなくリアルタイムに近い頻度で指標を確認し、異常を早期検知。
- **「ヒト×カネ」相関分析**
行動特性と成果の相関や、研修効果と売上貢献度など高度な分析を実現。



人事・現場視点

タレントマネジメントと生産性

- **戦略的な人材配置**
スキル・評価・負荷の可視化により、データに基づいた適材適所を実現。
- **離職検知とリテンション**
勤怠や評価の推移からコンディション低下を早期発見し、離職を未然に防ぐ。
- **「脱Excel」で生産性向上**
集計作業を自動化し、分析や対策立案などの付加価値業務へ時間をシフト。



ガバナンス視点

データの民主化とセキュリティ

- **SSOT (信頼できる情報源)**
全社で統一されたデータ基盤を確立し、数字の不整合による議論の混乱を解消。
- **セルフサービスBIの促進**
現場ユーザー自身が必要な切り口で分析できる「データの民主化」環境を提供。
- **セキュリティの強化**
ファイル送付を廃止し、権限管理されたサーバー上での閲覧により漏洩リスク低減。

プロジェクト参画の経緯

Case Study

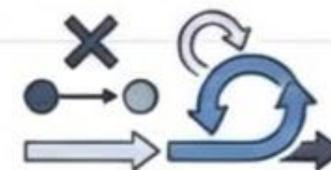
プロジェクト担当の課題感

01 管理体制不足と全体の不透明感



進捗・課題を統括管理する担当者が不在。プロジェクト全体の**状況が不透明**であり、適切な意思決定が困難な状態。

02 アジャイル理解不足



開発サイクルの推進力が欠如。アジャイルの本質的な手法が浸透しておらず、**開発のスピード感**が向上しない。

03 移行リスク未整理



既存環境から新基盤への移行における**業務影響が不明確**。
リスクシナリオが整理されておらず、安定稼働に懸念。

04 活用支援の欠如



BIツール導入後の**教育や運用ルールが未策定**。ツールの導入が目的化しており、実業務での活用イメージが乏しい。

プロジェクト参画の経緯

Case Study

プロジェクト参画時に求められた役割

1 PMOによるプロジェクト管理

2 アジャイル推進

3 移行設計の策定

4 定着化支援

プロジェクト内での対応

Case Study

求められた役割への対応

01 PMOによるプロジェクト管理



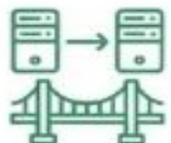
進捗・課題・リスクを統合管理し、プロジェクトの健全性を確保。意思決定に必要な情報を迅速に可視化します。

02 アジャイル推進



スクラム開発のフレームワークを導入し、開発サイクルの最適化を支援。柔軟かつ迅速なプロダクト提供を実現します。

03 移行設計の策定



新旧基盤の差分を詳細に分析し、実効性の高い移行計画を立案。業務への影響を最小限に抑えた安定稼働を図ります。

04 定着化支援



BIツールの活用教育や運用マニュアルの整備を通じ、現場でのデータ利活用を促進。導入後の成果創出を伴走支援します。

プロジェクトの最終成果

Project Outcomes



大規模データ基盤の確立と安定稼働

約5億行に及ぶ業務データの蓄積基盤を構築し、遅滞なくリリースを達成。リリース後も重大な障害はなく、安定した稼働を実現。



人事データの可視化と公開

過去5年分の人事データ(有給取得状況など)を Tableauで可視化。社内の役職者約 120名が閲覧可能な環境を整備し、データドリブンな人事管理を支援。



運用の定着化と組織変革

利用手順書や管理ルールの策定により、現場ユーザーが迷うことなくツールを活用できる体制を構築。データ活用文化の醸成に貢献。

CASE STUDY 02

AMLシステム刷新プロジェクト

プロジェクト背景: AML（マネーロンダリング防止）におけるトランザクションスクリーニングシステム（SWIFT TSS）の刷新。

参画期間	2023年9月～2024年3月
担当部署	市場決済部（ユーザー部門）
役割	ユーザー部門PMO、UAT・トレーニング支援

はじめに: **AML**、トランザクションスクリーニングとは？

AML & Transaction Screening Basics

全体像 (Framework)

🛡️ **AML (Anti-Money Laundering)**

「マネー・ロンダリング防止」を指す法規制や対策の総称。

本人確認(KYC)、疑わしい取引の届出、資産凍結措置などが含まれる。

▼ トランザクションスクリーニング

AML対策における具体的な実行手段の一つ。

送金等の取引実行時に、リアルタイムで制裁リスト(テロリスト・制裁対象国)と照合し、不正な資金移動を「未然に検知・阻止」する仕組み。



プロジェクトの目的(なぜこのプロジェクトが実施されたのか?)

Project Purpose

オンプレミス型からクラウド型(SWIFT TSS)への移行



SaaS化による運用効率化

- ✓ **インフラ管理からの解放**
ハードウェアの保守期限や老朽化対応が不要となり、運用リスクを排除。
- ✓ **常に最新機能を利用**
煩雑なバージョンアップ作業なしで、常に最新のセキュリティ機能を利用可能。
- ✓ **リソースの戦略的シフト**
「守り」の維持管理業務を削減し、ITリソースをコアビジネスへ集中。



リスト管理の自動化・高度化

- ✓ **制裁リストの一元管理**
SWIFT本部が管理するリストを自動適用。手動更新によるタイムラグを根絶。
- ✓ **人為的ミスの防止**
更新漏れや適用ミスといったオペレーションリスクを系統的にゼロへ削減。
- ✓ **検知精度の向上**
最適化されたアルゴリズムにより、誤検知(False Positive)を削減し業務を効率化。



ISO 20022 (MX)完全準拠

- ✓ **MXフォーマットネイティブ**
複雑なXML構造のメッセージに対して、変換ロスなく高精度なスクリーニングを実現。
- ✓ **確実な移行ロードマップ**
2025年の完全移行期限に向けた、SWIFT準拠の確実な対応基盤を提供。
- ✓ **将来的な拡張性**
規制変更やフォーマット改定時も、SaaS基盤側で迅速に対応・適用。

プロジェクト参画の経緯

Case Study

プロジェクト担当の課題感

01 リソース・管理者不在



ユーザー部門内で進捗を管理できる担当者が不在であり、タスクが可視化されていない状態。

02 部門間連携の欠如



IT部門との共通言語を持った推進役がおらず、ユーザー要望が適切に伝達・翻訳されていない。

03 UAT計画の未策定



新システム稼働に向けたUAT（受入テスト）や、ユーザートレーニングの具体的な実行計画が存在しない。

プロジェクト参画の経緯

Case Study

プロジェクト参画時に求められた役割

1 PMOによる一元管理

2 部門間ブリッジ機能

3 実務定着の徹底支援

プロジェクト内での対応

Case Study

求められた役割への対応

01 PMOによる一元管理



WBSを作成し進捗・課題を集約。プロジェクトの全体像を可視化し、遅延リスクを排除。

02 部門間ブリッジ機能



IT部門との定例会に代弁者として参加。合意形成をリードし、コミュニケーションロスを解消。

03 実務定着の徹底支援



UATシナリオの作成から研修資料の準備、トレーニング実施までをハンズオンで支援。

プロジェクトの最終成果

Project Outcomes



遅滞なきリリース

複雑なテスト工程とデータ移行をスケジュール通りに完遂。ビジネスへの影響を最小限に抑え、予定通りのサービスインを実現。



安定稼働の実現

綿密な移行計画とリハーサルにより、リリース後の重大なシステム障害はゼロ。高品質なシステム基盤を確立。



スムーズな定着

100名超の業務ユーザーに対して丁寧なトレーニングを実施。大きな混乱なく、初日からスムーズな業務利用を開始。

CASE STUDY 03

外国送金 ISO20022 移行

プロジェクト背景: 外国送金電文の国際標準（MTからMXへ）への移行。複数案件が並行する大規模プロジェクト。

参画期間	2024年4月～2025年12月
担当部署	市場決済部（ユーザー部門）
役割	ユーザー部門PMO、UAT・トレーニング支援

はじめに: ISO 20022 対応とは？

Global Financial Messaging Standard

金融通信メッセージの国際統一規格

ISO 20022は、金融通信メッセージの国際的な標準規格です。従来のSWIFT MTなどの非構造化フォーマットから、XMLベースの柔軟で構造化されたデータ(MX)への移行が進められています。本対応によるメリットは次の通りです。

- データ構造化 : 送金情報の透明性が向上
- コンプライアンス強化 : AMLや制裁スクリーニングの精度向上
- 業務効率化 : システム間の自動処理(STP)が促進
- 相互運用性 : 世界中の決済システムと接続可能

ISO 20022

A global financial messaging standard that enhances transaction speed, security, and interoperability. It enables seamless communication between banks, payment networks, and financial institutions. Cryptos like XRP, XLM, XDC, ALGO, and IOTA align with ISO 20022, positioning them for mainstream adoption in cross-border payments.



Stablecoins & IMF Approval

The IMF (International Monetary Fund) recognizes certain digital assets like Stellar (XLM) and Ripple (XRP) for their potential in cross-border payments. These assets align with global financial standards, ensuring stability, security, and efficiency in digital transactions.



ripple



Stellar



XinFin



Algorand



IOTA

プロジェクトの目的(なぜこのプロジェクトが実施されたのか?)

Project Purpose

金融インフラの高度化に向けた 3つの主要目的



データの質的向上と活用

> 情報の構造化

送金情報の構造化 (Structured Data) により、機械処理可能なデータ量を大幅に拡充。

> データ利活用

詳細な顧客情報や商流情報の伝達により、マーケティングや顧客分析への活用を促進。

> 品質管理

非構造化データの削減により、エラー率を低減し、データガバナンスを強化。



業務効率化とSTP化

> 相互運用性の確保

共通フォーマットにより、国内外の異種システム間でのスムーズな連携を実現。

> コスト削減

手作業を排除し、STP (自動処理) 率を最大化することで、オペレーションコストを圧縮。

> 決済迅速化

照合プロセスの自動化により、決済完了までのリードタイムを大幅に短縮。



コンプライアンスの高度化

> AML/CFT対策

詳細情報に基づくスクリーニング精度の向上により、マネロン・テロ資金供与リスクを低減。

> 国際規制への準拠

グローバル規制要件への対応を容易にし、クロスボーダー決済の透明性を確保。

> 検知能力の強化

制裁対象者や疑わしい取引の検知能力 (サンクション・スクリーニング) を強化。

プロジェクト参画の経緯

Case Study

プロジェクト担当の課題感

01

ユーザー部門、
IT部門間の連携不足



ユーザー部門内で進捗管理を行う担当が不在。IT部門との「橋渡し役」が不足している。

02

実行計画の不在



トレーニング実施や新システム UATに向けた具体的な実行計画の担当者がいない。

03

進捗の不透明化



進捗状況が可視化されておらず、部門間での情報共有が滞っている。

プロジェクト参画の経緯

Case Study

プロジェクト参画時に求められた役割

1 ユーザー部門、IT部門間の連携・調整

2 実行計画の立案と実務支援

3 WBS・ロードマップによる可視化

プロジェクト内での対応

Case Study

求められた役割への対応

01

ユーザー部門、IT部門
間の連携・調整



ユーザー部門の代弁者としてIT定例に参加。意見を集約し、結果を迅速に周知することで、双方の認識齟齬を防止。

02

実行計画の立案と
実務支援



トレーニング計画策定やUATパイロット版の作成・実施サポートまでハンズオンで対応し、現場の負荷を軽減。

03

WBS・ロードマップに
よる可視化



タスクを詳細に洗い出し、WBSとロードマップを作成。進捗と課題を一元管理し、プロジェクトの遅延を未然に防ぐ。

プロジェクトの最終成果

Final Outcomes



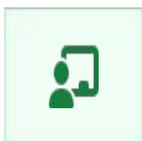
プロジェクト完遂

IT部門側とも密に連携し、テスト・移行・リリースの全工程を遅延なくスケジュール通りに達成。



システム安定稼働

MX電文(ISO 20022フォーマット)を利用した取引開始後も、重大なシステム障害は発生せず安定稼働を実現。



現場の円滑な定着

100名を超える業務ユーザーに対し適切なトレーニングを実施したことで、リリース後も大きな混乱なく利用が開始された。

大規模PJ PMOあるある

Common Pitfalls & Strategic
Solutions

大規模基幹刷新 PMOあるあるについて



課題と解決策の集約

大規模プロジェクトでは、業界特有の商習慣やセキュリティ要件、関係者の多さから、管理上の「あるある」課題が頻発します。これらをいかに先回りして解決するかが、プロジェクト成功の鍵となります。

01. 本番データのマスキング対応

⚠️ 【課題】

テストに本番データを利用する際、厳重なマスキングが必要。ルール定義と変換確認だけでサブプロジェクト並みの工数が発生し、現場を圧迫している。

💡 【解決策】

初期段階でマスキング対象要件を確定させ、汎用的なツールを作成。定型化・自動化により頻繁な作業に伴うリソース負荷を根本から軽減する。

Types Of Data Security

on

Data

ncy

Data



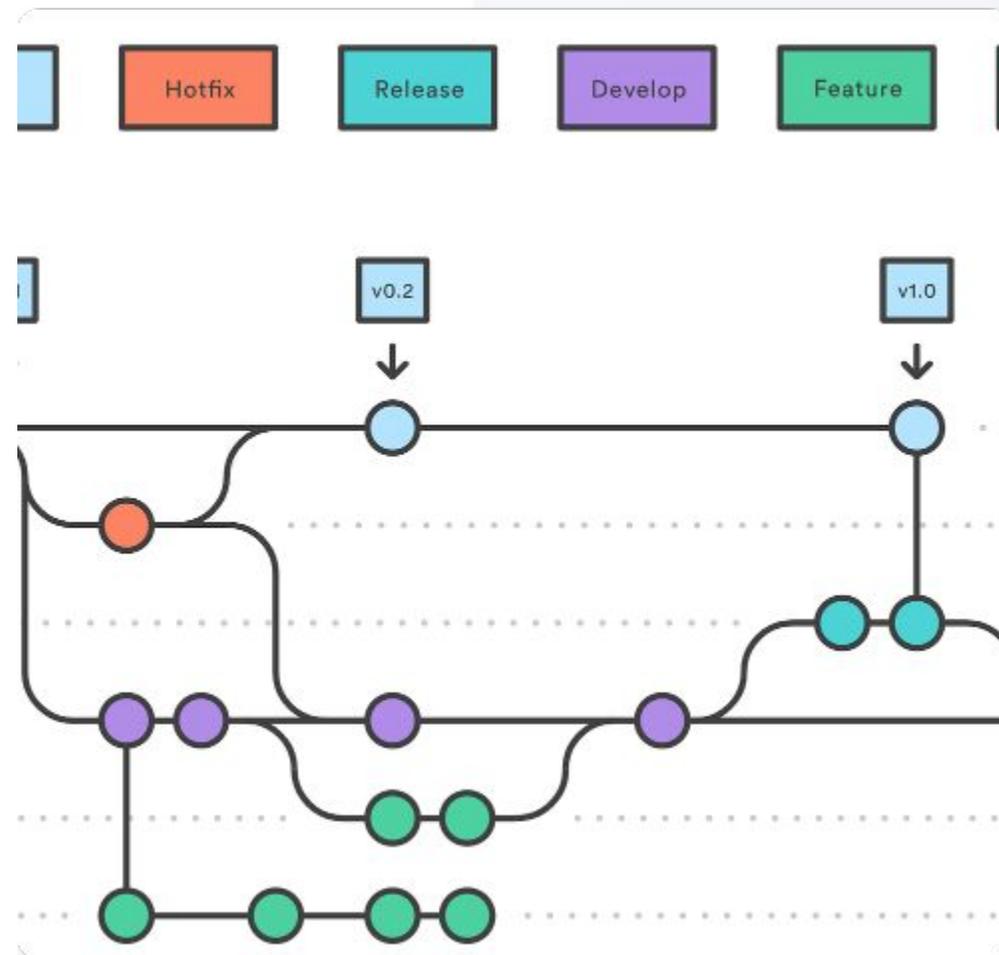
02. 並行開発における「先祖返り」防止

⚠️ 【課題】

新旧並行開発中に現行システムへ緊急改修が入った際、新システム側への反映管理を誤ると、古いソースで上書きしてしまう「先祖返り」が起きる。

💡 【解決策】

- Git等による厳格なバージョン管理とマージルールの策定
- 自動化ツールによる回帰テスト（リグレッション）の徹底
- 複数人によるレビュープロセスを含むマージ体制の見直し



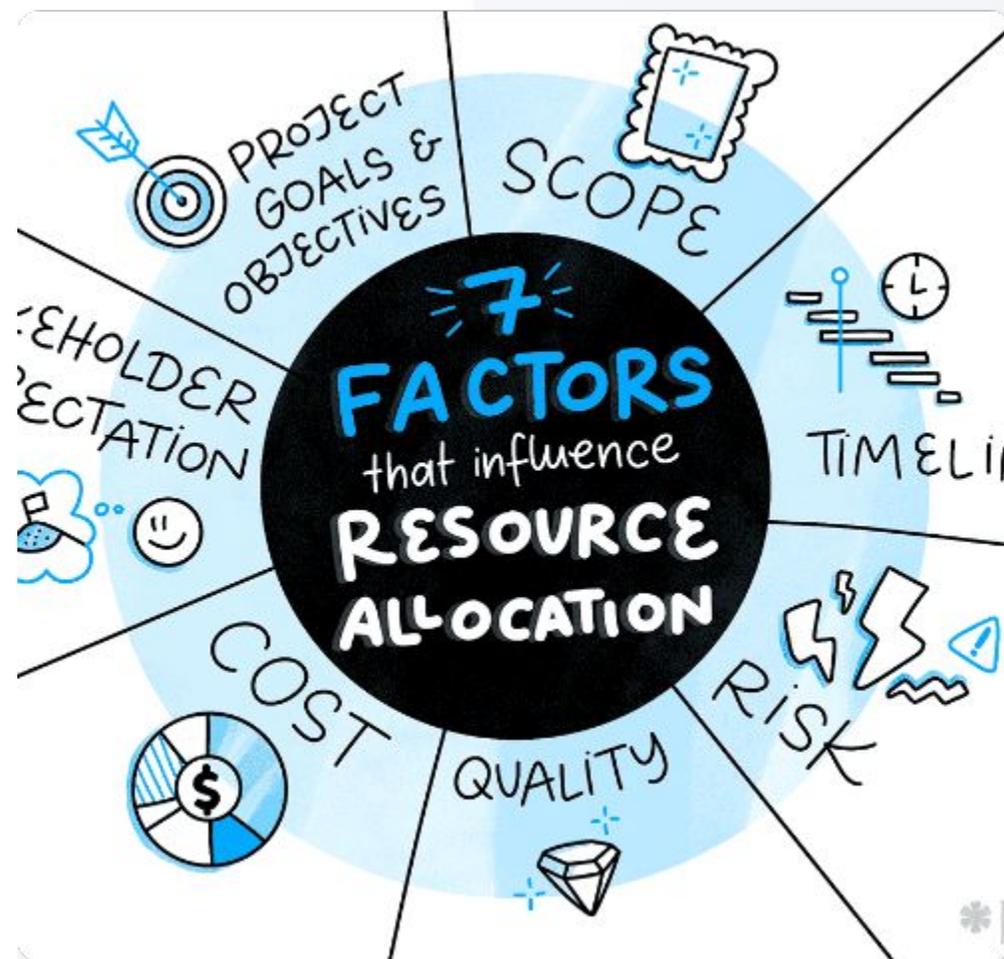
03. 案件掛け持ち要員への依頼調整

▲ 【課題】

重要人物が複数案件を兼務している場合、他案件の繁忙状況により自案件の作業依頼に即時対応してもらえないケースが発生し、遅延リスクとなる。

💡 【解決策】

並行案件のロードマップおよびタスク一覧を集約。誰がいつ何を実施しているかを「見える化」することで、他案件との精度の高い事前調整を可能にする。



04. キーパーソンへの業務集中対策

⚠️ 【課題】

優秀な有識者に業務が過度に集中し、本人がパンク状態になることでプロジェクト全体のボトルネック化を招く事態が多発する。

💡 【解決策】

【対処】 タスクの全量可視化と、代替可能な業務の別担当への再配分。

【予防】 有識者の知見を一覧化・ドキュメント化し、後続担当者が自走できる環境を構築して確認事項を削減する。



05. UAT・トレーニング準備の明確化

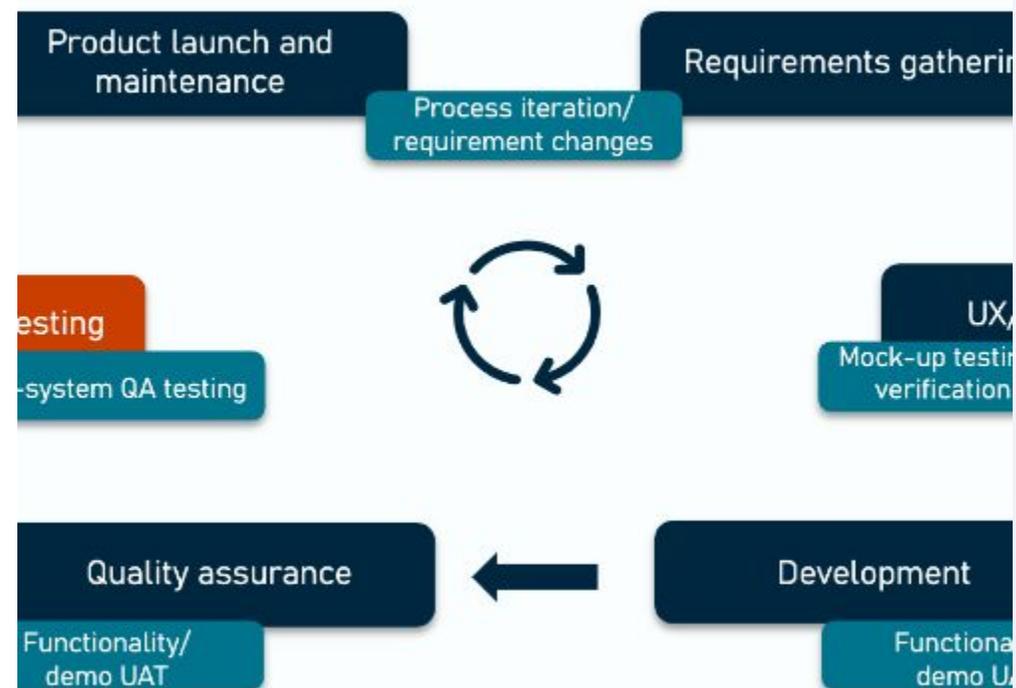
⚠️ 【課題】

ユーザー側がUATやトレーニングに向けて「何を準備すべきか」「どう進めるべきか」が分からず、参画意欲や品質の低下を招く。

💡 【解決策】

「不明点」を構成要素（タスクの存在、内容、進め方）ごとに切り分ける。周りを巻き込んで一つずつタスクを具体化し、実行計画へ落とし込む。

USER ACCEPTANCE TESTING IN THE AGILE MODEL



06. 管理系打合せの最適化

⚠️ 【課題】

ワークグループごとの定例会議にPMOが全て参加することで、本来推進すべきPMOコア業務の時間が圧迫されている。

💡 【解決策】

- PMO複数名での参加分担
- 関連打合せの統合・集約による開催回数の削減
- 書面開催へのシフトによる実会議時間の短縮



08. ドキュメント作成意図の明文化

⚠️ 【課題】

長期案件において、過去に作成した資料の存在意義が数年後に不明となり、資産であるはずのドキュメントが単なるゴミと化すリスク。

💡 【解決策】

資料を作成する際は「その目的」と「作成者の意図」を冒頭等に明確に記載する。文章として背景情報を付加することで、後任者がいつでも文脈を辿れるようにする。



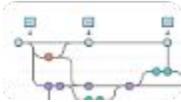
※本資料に掲載している一部の画像は、生成AIを用いて作成しております。
なお活用した第三者画像の参照先は巻末に記載しております

Image Sources



<https://marvel-b1-cdn.bc0a.com/f00000000310757/www.fortinet.com/content/dam/fortinet/images/cyberglossary/types-of-data-security.jpg>

Source: www.fortinet.com



https://miro.medium.com/v2/resize:fit:1400/1*py0lrjFz-HkS9mw0HJSILQ.png

Source: medium.com



<https://plan.io/images/blog/7-factors-resource-allocation.png?1767793876>

Source: plan.io



[https://www.verywellmind.com/thmb/QvNQIfAZ1NnjKoagTEa9HdrboVM=/2145x0/filters:no_upscale\(\):max_bytes\(15000\):strip_icc\(\)/stressedman-cbf6c8900b954de2b933018b6ae06ae3.jpg](https://www.verywellmind.com/thmb/QvNQIfAZ1NnjKoagTEa9HdrboVM=/2145x0/filters:no_upscale():max_bytes(15000):strip_icc()/stressedman-cbf6c8900b954de2b933018b6ae06ae3.jpg)

Source: www.verywellmind.com



<https://www.altexsoft.com/static/content-image/2025/2/4fb655e6-02fd-43cc-b61c-fe13a2627920.png>

Source: www.altexsoft.com



<https://www.displaynote.com/content/uploads/2023/03/iStock-1333390966-1-1024x519.jpg>

Source: www.displaynote.com

Image Sources



<https://imgv2-1-f.scribdassets.com/img/document/463804536/original/2090be8d77/1?v=1>

Source: de.scribd.com



<https://www.ucidocuments.com/wp-content/uploads/2017/03/5545328.jpg>

Source: www.ucidocuments.com



<https://static.vecteezy.com/system/resources/thumbnails/060/270/898/small/dark-blue-geometric-design-with-futuristic-light-streaks-minimalist-low-poly-abstract-background-in-teal-and-navy-vector.jpg>

Source: www.vecteezy.com



[https://png.pngtree.com/png-clipart/20250417/original/pngtree-digital-security-concept-with-shield-and-chip-for-protecting-financial-transactions-png-image_20715100.p](https://png.pngtree.com/png-clipart/20250417/original/pngtree-digital-security-concept-with-shield-and-chip-for-protecting-financial-transactions-png-image_20715100.png)

Source: pngtree.com



https://miro.medium.com/v2/resize:fit:1400/1*U5dNR9wwCEPGoebFHQNZQ.jpeg

Source: latorreattorney.medium.com

Image Sources



<https://1e5dcb836f18f1acfca4290485cb7c8f.cdn.bubble.io/cdn-cgi/image/w=768,h=397,f=auto,dpr=2.5,fit=contain/f1727074066146x308997905826546600/Client%20Dashboa rd%20-%20in%20Blue%20theme.png>

Source: datasquirrel.ai



<https://www.europeanfinancialreview.com/wp-content/uploads/2024/11/iStock-2172124493.jpg>

Source: www.europeanfinancialreview.com
